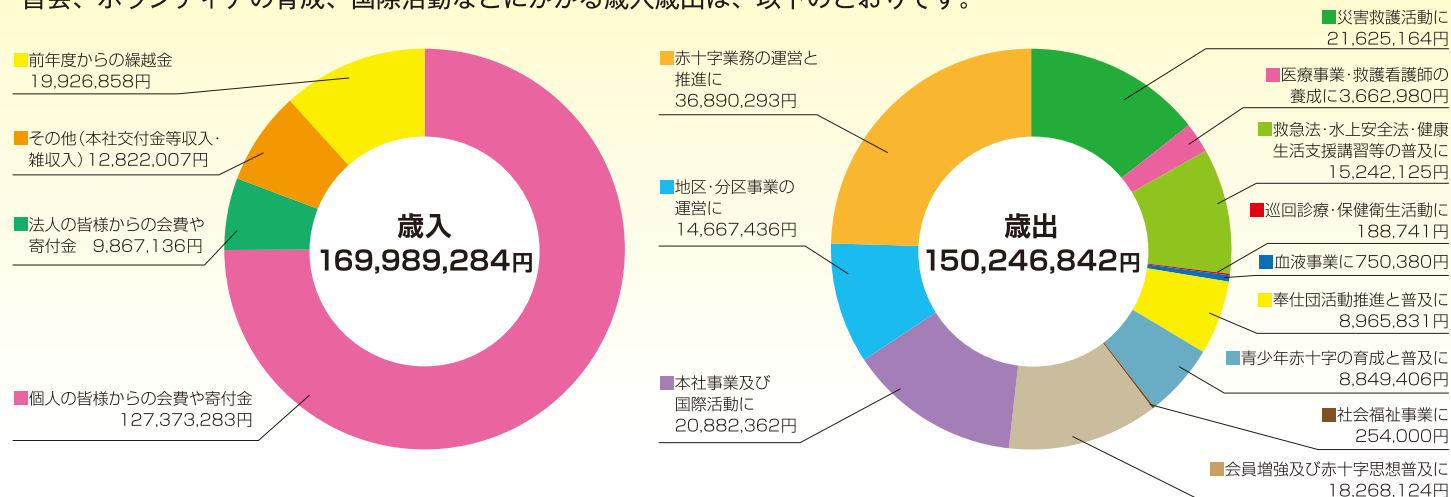


## 平成28年度 日赤島根県支部 収支決算のご報告

個人・法人の皆さまからいただく活動資金（会費・寄付金）を財源に日赤島根県支部で実施した災害救護活動、救急法等の講習会、ボランティアの育成、国際活動などにかかる歳入歳出は、以下のとおりです。



※歳入歳出差引額1,974万2,442円は翌年度繰越金として29年度事業で活用させていただきます。

※赤十字病院、血液センター、乳児院は施設毎の会計になっており上記決算には含まれません。表中の「医療事業」、「血液事業」、「社会福祉事業」は、主として支部に関わる施設基盤整備事業、献血思想普及活動、災害救護のために看護師養成事業、子育て支援活動等の事業費となります。

### 活動資金にご協力をお願いします

日赤の活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金（会費・寄付金）により支えられています。ご協力をお願いします。



### 表彰制度のご案内

活動資金へのご寄付やボランティア等でご協力いただいた皆さまに、その内容に応じて、有功章や感謝状等をお贈りしています。



金色有功章(個人)



金色有功章(法人)

### 活動資金へのご協力ありがとうございました

3万円以上の活動資金をご寄付いただき、掲載にご了解いただいた皆さまをご紹介します。(対象期間:平成29年3月18日～平成29年8月31日)

#### ●個人・皆さまからの御寄付

糸川 隆弘(松江市) 井上 範子(浜田市)  
金津 博美(松江市) 小川 憲治(浜田市)  
信太 秀夫(松江市) 吾郷 雄二(出雲市)  
田中 清子(松江市) 森脇 善男(出雲市)  
豊田智恵子(松江市) 新田 俊之(出雲市)  
原田美智子(松江市) 松田 忠一(大田市)  
二見謙次郎(松江市) 山脇 里美(江津市)  
椋木 和雄(松江市) 勢田 房行(川本町)  
物部宏太郎(松江市)

#### ●法人・団体からの御寄付

カナツ技建工業(株)(松江市) まるなか建設(株)(松江市) 大畑建設(株)(益田市)  
(株)山陰合同銀行(松江市) (株)第一ホーム(浜田市) 益田地域医療センター  
山陰中央テレビジョン放送(株)(松江市) 出雲大社(出雲市) 医師会病院(益田市)  
(株)さんびる(松江市) 出雲大同青果(株)(出雲市) (株)森本建設(益田市)  
(株)島根銀行(松江市) しまね中央税理士法人(出雲市) (有)渡辺建設(飯南町)  
島根県遊技業協同組合(松江市) 金山事務所(出雲市)  
(一社)しまね福祉防犯協力会(松江市) (株)永瀬(出雲市) (敬称略・順不同)  
(福)しらゆり会(松江市) (有)安藤土木(大田市)  
松江土建(株)(松江市) イワタニ島根(株)(大田市)

紙面の都合上ご紹介できませんが、この他にも多くの皆様から活動資金へのご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

**プレゼント** いざという時に役立つ! 「応急手当セット」を**5名様にプレゼント!**

以下を明記のうえ、ハガキでご応募ください。

①名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号  
④年齢 ⑤本紙へのご意見・ご感想

●応募先 〒690-0873 松江市内中原町40  
日本赤十字社島根県支部 総務課  
●応募締切 平成29年12月22日(金) 必着



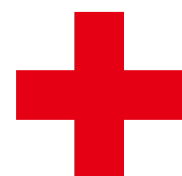
※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。また収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。

**おいせ**

第8回 赤十字救急法競技大会開催!!

期日 平成29年11月19日(日)  
会場 島根県立武道館  
(松江市内中原町52)

※詳細は島根県支部事業推進課まで  
TEL:0852-21-4237



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# しまねの赤十字

2017.10.1

No. 82



島根県支部は、10月で設立130周年を迎えました!!

## 災害救護でみる130年



### 救護の拠点となる支部庁舎の変遷



次の一步、そして150年へ、  
200年へ。  
人道の実現に向けて。

左上) 明治20年の支部庁舎(当時の島根県庁)

右上) 昭和40年代の支部庁舎

左下) 大正3年に新築された支部庁舎

右下) 平成22年からの支部庁舎

編集・発行 日本赤十字社島根県支部 〒690-0873 松江市内中原町40番地 TEL(0852)21-4237



日赤しまね 検索



# 日本赤十字社島根県支部130年の記録

島根県支部は明治20年10月に設立して以来、県民の皆さまに支えられ、様々な活動を行ないながら、今年130周年を迎えることができました。

赤十字が行う「人間のいのちと健康・尊厳」を守る活動の中でも、第一業務である「災害救護活動」には、大きく分けて、①医療救護、②救援物資の備蓄と配分、③災害時の血液製剤の供給、④義援金の受付と配分、⑤その他災害救護に必要な業務（防災ボランティアの活動や外国人の安否調査など）の5つがあります。

今回は、昭和期、平成期に島根県内で大きな被害をもたらした災害に対して、島根県支部が行った救護活動（医療救護、救援物資の配布、義援金の受付と配分）を振り返ります。

1877 救護団体「博愛社」創設  
(日本赤十字社の前身)

1887 日本赤十字社に改称  
**島根赤十字社設立**

1888 日本赤十字社島根支部  
に改称

昭和47年7月  
**豪雨災害救護活動** 1972

- 被害状況 死者：28名 負傷者：79名  
全壊：751棟 半壊：1,235棟 一部損壊：656棟  
浸水：床上11,845棟 床下 26,449棟
- 活動状況 松江赤十字病院救護班：10個班派遣 診療患者数：1,188名  
益田赤十字病院救護班：4個班派遣 診療患者数：407名
- 救援物資配布状況 毛布：1,537枚 日用品：16,974点
- 義援金配分状況 8市35町2村へ（※昭和47年当時の市町村数）  
合計 35,560,595円



桜江町川戸地区

これらの赤十字活動は皆さまからの『活動資金』に支えられています

赤十字が行う災害時の救護活動や救援物資の整備、救急法等の講習会、防災・減災への取組み等は、皆さまからの活動資金（会費・寄付金）によって支えられています。今後も皆さまの「いのちと健康・尊厳を守る活動」を続けていくために、活動資金へのご協力をよろしくお願いします。



初代島根県支部長  
籠手田 安定  
(第8代島根県知事)



救護活動にあたる益田赤十字病院の救護班  
(三隅町)

1983 昭和58年7月  
**豪雨災害救護活動**

- 被害状況 死者：107名 負傷者：159名  
全壊：1,064棟 半壊：1,977棟 一部損壊：551棟  
浸水：床上 6,953棟 床下 7,043棟
- 活動状況 松江赤十字病院救護班：14個班派遣 診療患者数：1,516名  
益田赤十字病院救護班：18個班派遣 診療患者数：599名
- 救援物資配布状況 毛布：10,123枚 日用品：10,107点
- 義援金配分状況 3市10町3村へ（※昭和58年当時の市町村数）  
合計 562,524,000円



2011 東日本大震災  
救護活動

平成18年  
**島根県豪雨災害** 2006

- 被害状況 死者：5名 負傷者：12名  
全壊：7棟 半壊：6棟 一部損壊：68棟  
浸水：床上 371棟 床下 1,603棟
- 救援物資配布状況 毛布：1,880枚 日用品：30点
- 義援金配分状況 5市2町へ 合計 1,074,304円



救援物資の配布を行う防災ボランティアと職員（松江市）

昭和63年7月  
**大雨災害救護活動** 1988

- 被害状況 死者：6名 負傷者：29名  
全壊：71棟 半壊：108棟 一部損壊：255棟  
浸水：床上 1,742棟 床下 5,119棟
- 活動状況 益田赤十字病院救護班：2個班派遣 診療患者数：87名
- 救援物資配布状況 5市8町2村へ 毛布：3,406枚 日用品：3,406点  
お見舞いセット：1,440点
- 義援金配分状況 2市6町へ（※昭和63年当時の市町村数）  
合計 31,813,028円

## 救護班

大災害や事故が発生した際、迅速な救護活動を行なうため、医師・看護師・主事等で編成した医療チーム。島根県支部では、毎年度、松江赤十字病院に3班、益田赤十字病院に2班を編成し、災害に備えています。

2013 平成25年夏島根県西部大雨  
災害救護活動

- 被害状況 死者：1名 負傷者：1名  
全壊：14棟 半壊：53棟 一部損壊：32棟  
浸水：床上125棟 床下787棟
- 活動状況 益田赤十字病院救護班：6個班派遣 診療患者数：242名
- 救援物資配布状況 毛布：261枚 日用品：114点
- 義援金配分状況 4市2町へ 合計 73,397,992円



こころのケア活動を行うこころのケア要員  
(津和野町)

広島県大雨災害  
救護活動 2014

熊本地震  
災害救護活動 2016



巡回診療を行う松江赤十字病院救護班  
(伯太町)

2004 新潟県中越沖地震  
災害救護活動

2000 鳥取県西部地震  
災害救護活動

- 被害状況 負傷者：11名  
全壊：3棟 半壊：576棟 一部損壊：3,456棟
- 活動状況 松江赤十字病院救護班：3個班派遣 診療患者数：137名
- 救援物資配布状況 2市4町へ 毛布：1,014枚 日用品：500点
- 義援金配分状況 2市4町へ 合計 73,953,980円

1995 阪神・淡路大震災  
救護活動



がれきの中を歩く救護班（浜田市）

救援物資の備蓄状況 (9月15日現在)

- 毛布：1,977枚
- タオルケット：664枚
- 緊急セット：1,263個
- 安眠セット：520個



被災者への救援物資として備蓄している他、医療救護用テント、無線機等の救護資機材を配備しています。